TADOKU JUNIOR むかしばなし ★★☆☆☆ みじかい 255語

Little Red Hen

小さな赤いめんどり

Traditional（1919年の本） 原文そのまま 朗読：Fr. Richard Zeile of Detroit

人の声の朗読
を聞く・Web版

どんなおはなし？ 麦のつぶを見つけた小さな赤いめんどり。植えるのも、かるのも、パンを作るのも、だれも手伝ってくれません。さいごにパンができると……。



Little Red Hen found a grain of wheat.

"Who will plant this?" she asked.

"Not I," said the cat.

"Not I," said the goose.

"Not I," said the rat.

"Then I will," said Little Red Hen.

So she buried the wheat in the ground. After a while it grew up yellow and ripe.

"The wheat is ripe now," said Little Red Hen. "Who will cut and thresh it?"

"Not I," said the cat.

"Not I," said the goose.

"Not I," said the rat.

"Then I will," said Little Red Hen.

So she cut it with her bill and threshed it with her wings. Then she asked, "Who will take this wheat to the mill?"

"Not I," said the cat.

"Not I," said the goose.

"Not I," said the rat.

"Then I will," said Little Red Hen.

So she took the wheat to the mill, where it was ground. Then she carried the flour home.

"Who will make me some bread with this flour?" she asked.

"Not I," said the cat.

"Not I," said the goose.

"Not I," said the rat.

"Then I will," said Little Red Hen.

So she made and baked the bread.

Then she said, "Now we shall see who will eat this bread."

"We will," said cat, goose, and rat.

"I am quite sure you would," said Little Red Hen, "if you could get it."

Then she called her chicks, and they ate up all the bread. There was none left at all for the cat, or the goose, or the rat.

小さな赤いめんどりが、麦のつぶを1つ見つけました。

「だれがこれを植えてくれる？」とめんどりは聞きました。

「わたしはいやだよ」とネコが言いました。

「わたしはいやだよ」とガチョウが言いました。

「わたしはいやだよ」とネズミが言いました。

「それなら、わたしがやるわ」と小さな赤いめんどりは言いました。

そこでめんどりは、麦を土の中にうめました。しばらくすると、麦は黄色く育って、みのりました。

「麦がみのったわ」と小さな赤いめんどりは言いました。「だれが麦をかりとって、つぶをはずしてくれる？」

「わたしはいやだよ」とネコが言いました。

「わたしはいやだよ」とガチョウが言いました。

「わたしはいやだよ」とネズミが言いました。

「それなら、わたしがやるわ」と小さな赤いめんどりは言いました。

そこでめんどりは、くちばしで麦をかりとり、羽でたたいてつぶをはずしました。それから「だれがこの麦を、こなひき小屋へ持っていってくれる？」と聞きました。

「わたしはいやだよ」とネコが言いました。

「わたしはいやだよ」とガチョウが言いました。

「わたしはいやだよ」とネズミが言いました。

「それなら、わたしがやるわ」と小さな赤いめんどりは言いました。

そこでめんどりは麦をこなひき小屋へ持っていき、そこで麦はこなになりました。それから、めんどりはこなを家へ運びました。

「だれがこのこなで、パンを作ってくれる？」とめんどりは聞きました。

「わたしはいやだよ」とネコが言いました。

「わたしはいやだよ」とガチョウが言いました。

「わたしはいやだよ」とネズミが言いました。

「それなら、わたしがやるわ」と小さな赤いめんどりは言いました。

そこでめんどりは、パンを作って、やきました。

それから「さあ、このパンをだれが食べるかしら」と言いました。

「わたしたちが食べる！」とネコとガチョウとネズミが言いました。

「そりゃあ、食べたいでしょうね」と小さな赤いめんどりは言いました。「食べられるものならね」

それからめんどりはひよこたちをよんで、みんなでパンをのこらず食べてしまいました。ネコにも、ガチョウにも、ネズミにも、ひとかけらものこりませんでした。

たんご と クイズ 小さな赤いめんどり

wheat 麦	**cat** ネコ	**goose** ガチョウ
rat ネズミ	**mill** こなひき小屋	**flour** こな（小麦こ）
bread パン	**chicks** ひよこ	

Q1 めんどりが見(み)つけたものは？

① パン　② 麦(むぎ)のつぶ　③ たまご

Q2 さいごにパンを食(た)べたのはだれ？

① ネコとガチョウとネズミ　② みんなで半分(はんぶん)ずつ　③ めんどりとひよこたち

こたえ

Q1 ② 小(ちい)さな赤(あか)いめんどりは、麦(むぎ)のつぶを1つ見(み)つけました。それを植(う)えるところからお話(はなし)がはじまります。

Q2 ③ めんどりはひよこたちをよんで、パンをぜんぶ食(た)べました。手伝(てつだ)わなかった3びきには、のこりませんでした。

原田英語の多読ベストジュニア
本物の英語の絵本 1,000話以上を、原文・人の声の朗読・和訳つきで。ゲーム・なぞなぞも。ぜんぶ無料・登録なし。
haradaeigo.com/tadokubestjr/

出典　英文：原文そのまま（1語も書きかえていません）。Project Gutenberg 電子書籍 #19993（Traditional、1919年）。パブリックドメイン。
挿絵：この本には挿絵がないため、場面をイメージして AI（Codex）で描いた絵です。
朗読（Web版）：Fr. Richard Zeile of Detroit（LibriVox のボランティア。パブリックドメイン）
和訳・クイズ：AIと人が作成。AIは 3 重チェック。人の目でも順次確認しています。